会 議 記 録				
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会			会議場所 全員協議会室 第2委員会室
				担当職員 藤村
日 時	平成24年7月20日(金)			開 議 午後 1 時 27分
				閉 議 午後 3 時 12分
出席委員	堤 齊藤 並河 中村 田中 西村 日高 木曾 石野			
執行機関出席者	山内政策推進室長、田中安全安心まちづくり課長、古林まちづくり推進部理事、橋本土木管理課長、森都市計画課長、辻田教育部長、中川教育部次長、山本学校教育課長、福井教育総務課長			
傍聴	☒ 可 ☐ 否	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 堤委員長 あいさつ 開議

< 堤委員長 >

本日は産業建設常任委員会と合同で開催する。

2 事務局日程説明

< 事務局 >

まず、担当部から説明を聞き、その後、現地視察いただく。ここまでは産業建設常任委員会と合同開催である。帰庁後は第2委員会室で次回の日程等決定いただき、事務局から公契約条例の取組状況を報告する。

3 事件

通学路安全対策取組経過について

< 政策推進部理事 挨拶、総括説明 >

4月23日に重大事故が発生した。以後、亀岡市民、全国民が二度とこういう事故が起きないように、起こさないようにそれぞれの組織、地域で考えていただいている。亀岡市でも交通安全対策協議会を中心にどのようにして子供たちを守るか、議論し対策を講じてきた。

事故翌日・・・交通死亡事故多発警報発令。

5月7日・・・市長が交通安全緊急アピール。一斉街頭啓発実施。

5月9日・・・篠町で再び死亡事故。交通死亡事故非常事態宣言。

(1) 安詳小学校区において実施したこと

事故現場である府道王子並河線の安全対策工事(府で実施)

迂回路とした市道上又上西裏線、市道篠バス停線の安全対策(市で実施)

府道王子並河線の速度規制。6月18日～、40km 30km、再々の取締り実施。

登下校の見守り実施、スクールカウンセラーの配置。

安詳小学校前の信号機設置、篠バス停付近に陸橋設置について要望書提出。

関電、NTT 西日本に協力要請。

(2) 市内全域における通学路の交通安全対策として実施したこと

市内全小学校に通学安全対策物品を配布。

京都府の呼びかけで通学路安全対策連絡会議開催・・・201箇所危険箇所の現地踏査。

府、公安委員会等への要望活動。

(3) 通学路の危険箇所201箇所の対応策について

【府道】

府道の改良について府民公募型安全・安心整備事業として33件要望
横断歩道や信号機設置について公安委員会に要望

【市道】83箇所

短期、中期、長期で対策実施。

【国道】12箇所

現在、地域懇談会でも要望を聞いている。

<まちづくり推進部理事 挨拶>

安詳小学校の迂回通学路は6月末に安全対策終了。市内一円でカーブミラーの修理、舗装の改修等実施している。市内全域の通学路安全対策のうち、すぐに取り掛かれるものは夏休み中に取り掛かりたい。今後、新たな補正予算が必要になると思われる。

<土木管理課長 資料に基づき説明>

<教育部長 挨拶 説明>

安詳小学校の児童の様子は、負傷した7名の児童は6月中旬に全員登校できるようになった。しかし、引き続き治療を受けている児童もいる。精神的なショックからカウンセリングの必要な児童もいるし、学習面でのフォローも必要。

本日は終業式であった。安詳小学校では夏休み前後の2週間に補充学習を予定している。また、2学期以降もスクールカウンセラーの継続配置を府へ要望している。

<堤委員長>

それでは、この後、現地視察とする。

～13:52

14:00～

現 地 視 察 - つつじ号乗車 -

安詳小学校通学路の現状

(府道王子並河線、市道上又上西浦線、市道篠バス停線 等)

まちづくり推進部理事、土木管理課長 バスに同乗し説明。

～14:45

15:00～

<堤委員長>

あいにくの激しい雨のため、車窓からの現地視察となったが、担当部署で頑張っており、取り組んでもらっている。この際なので、何かあればご意見を。

<田中委員>

カラー路側帯について、ほとんどの所が片側である。7月の平和大行進時にたまたま千代川郵便局の前にいた時、子供が下校していた。警察が路側帯のない右側を通行するよう誘導していた。登下校ともカラー舗装の上を歩くよう学校では指導していると思うが、たまたまかもしれないが警察官によってはそういう指導をする者もいる。学校の指示と警察の指示が食い違うようではいけない。

<中村委員>

学校が児童に路側帯の上を歩くよう指導しているので、子供たちはわかっているはずと思う。

<堤委員長>

学校と警察と連携を図りたい。

<西村委員>

先ほどみたとおり、篠の方はよくなった。しかし全市的に見て濃淡がある。一律に安全対策がいきわたるように実施されることを要望しておく。

<齊藤副委員長>

同感である。

<事務局>

前回、資料請求のあった危険箇所201箇所については、お渡しできる状況に整理できていないのでご了承願う。

4 その他

公契約条例の取組状況について

<事務局>

平成23年12月議会で公契約条例の制定に係る請願が採択された。その後の取組状況について、契約検査課から報告を受けているので事務局から報告させていただく。

先日、公契約制度に関する庁内ワーキング会議として、「亀岡市公契約条例に係る庁内検討委員会」が設置された。内容は、課長級の職員により、公契約制度に関する調査、研究及び課題等の検討を行う。委員は12名（夢ビジョン推進課長、契約検査課長、総務課長、財政課長、環境政策課長、こども福祉課長、ものづくり産業課長、都市計画課長、建築住宅課長、営業課長、下水道課長、教育総務課長）。会議開催時期は、8月～12月で最低月1回のペースで開催予定。現在、第1回会議を8月上旬に開催することとして準備を進めている。検討委員会では、庁内の意識共有、条例内容の理解を深めるのが目的。その後は、外部の委員も含めて条例制定に向けて委員会を設置される方向。

担当課からはもう少し動きが出てから委員会で報告させていただくとのこと。

次回の日程及び内容について

<堤委員長>

次回の日程は、8月30日（木）午前10時00分からでしょうか。

全員了

内容についてはどうか。

< 齊藤副委員長 >

いじめについて、本市の状況と取り組みについて聞きたい。

< 田中委員 >

関連するが、文科省が全小・中学校にアンケートを採り、8月末にまとめると言っている。次回の月例会時なら市内の分はまとめて報告しているはず。

< 堤委員長 >

それでは、次回は亀岡市小・中学校のいじめの現状と取組についてとする。

全員了

< 堤委員長 >

それでは、これで、総務文教常任委員会を閉議する。

15 : 12 閉議